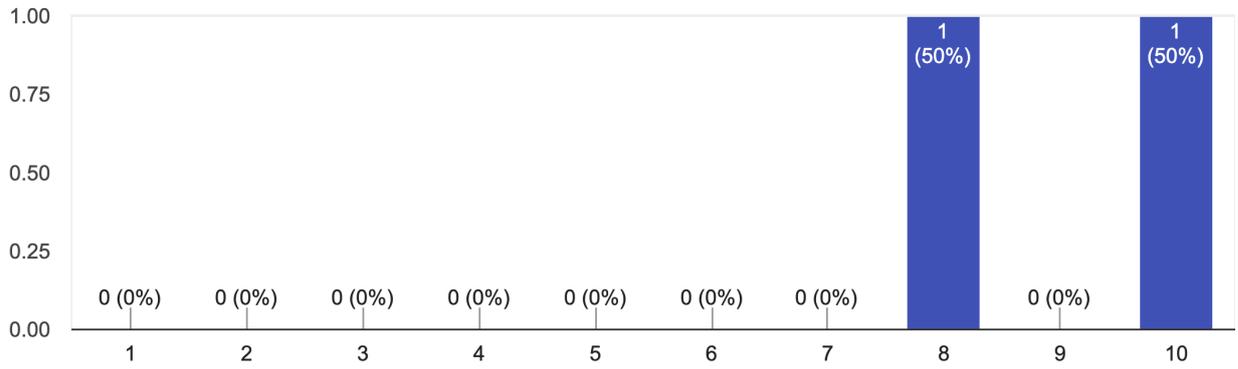


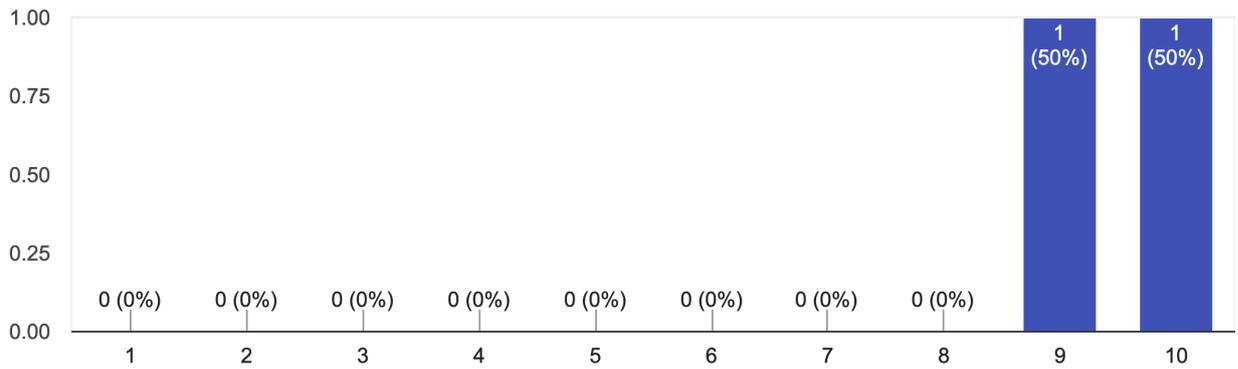
読みやすさ

2件の回答



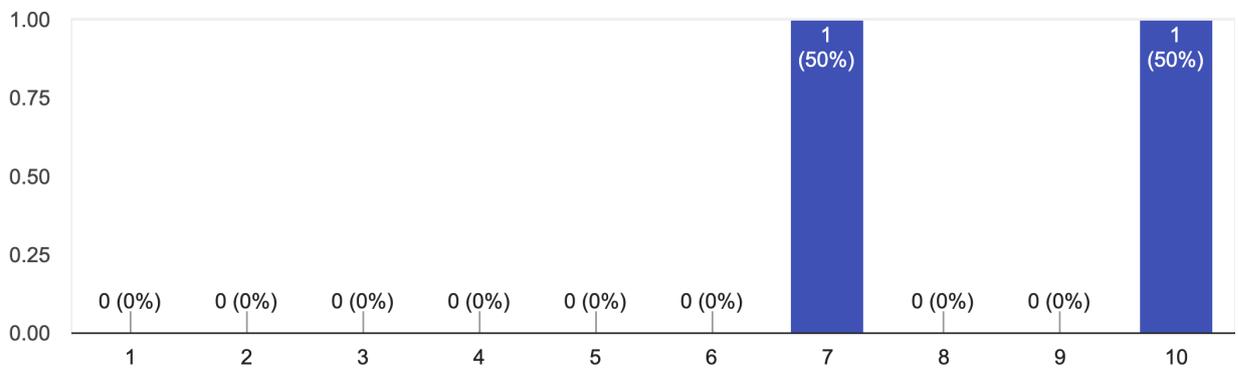
情景描写

2件の回答



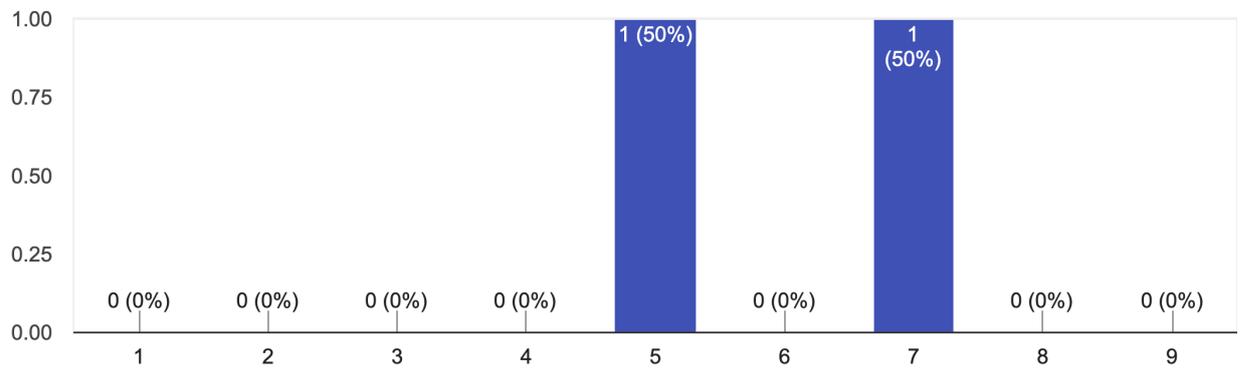
全体のまとめ

2件の回答



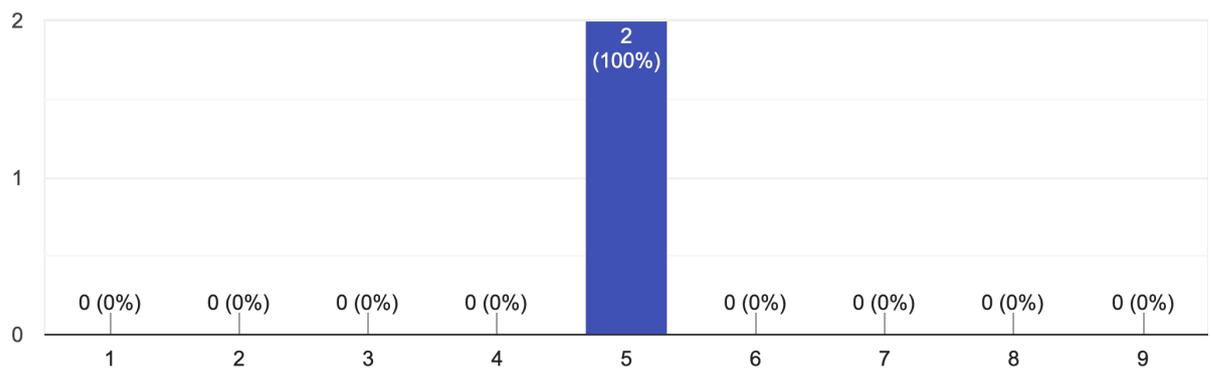
シーンごとの分量の配分

2件の回答



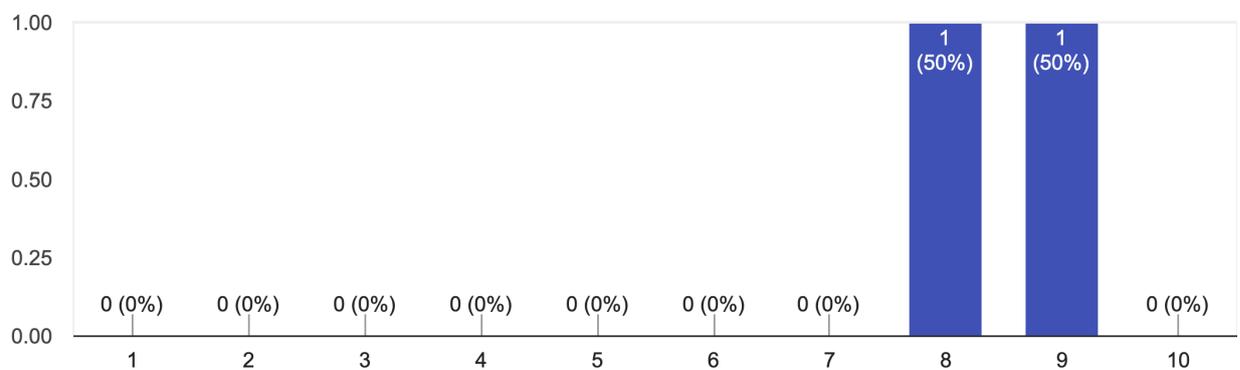
要素の詰め込み具合

2件の回答



全体を通して10段階で評価すると

2件の回答



評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

冒頭の狐の親子の触れ合いがすごくかわいく、また、愛情にあふれていて素敵でした。
人間は怖いというので人間が恐ろしく描かれるかと思ったら、そうではなく、優しい帽子屋さんで心がほっこりしました。

> 「母ちゃん、お星さまは、あんな低いところにも落ちてるのねえ」
かわいい.....

話はぼんやり覚えていたのですが、冒頭のシーンだったり、片手だけ人間の手に変えるところだったり、覚えていないシーンも多くて、改めて楽しく読みました。この短さでこれだけ濃い物語をつくれるのはすごい。

よくなかった、批判点などを教えてください。

終盤の展開が唐突で、話が尻切れトンボだな...とちょっと感じました。

読みやすさ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

情景描写

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

情景描写がうまい...！と素直に感心しました。

全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

シーンごとの分量の配分

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

一文がそんなに長くないので、

すると突然、うしろで、

「どたどた、ざーっ」と物凄い音がして、パン粉のような粉雪こなゆきが、

というようなところも、カギカッコの前で改行せず、そのまま続けてしまった方が読みやすくないか？と思いました（カギカッコはすべて冒頭にもってくるという作者のこだわり？）

全体を通して10段階で評価すると



最後の一文

「ほんとうに人間はいいものかしら。ほんとうに人間はいいものかしら」とつぶやきました。について

児童向け文学だと思いますが、子供はこの最後の一文を重視すると思いますか？

あまり重視しないと思います。

ここにくるまでは子どもと読んでも楽しい話だと思ったのですが、最後だけ「子どもはこれで納得するかなあ」と正直思いました。少なくとももう一文くらい、何かあってもいいのでは...（情景描写でもいいし、何かめとなる一文がほしい）

この一文について思うことがあったら書いてください

台詞としてはとてもいいと思いますが、子どもの対応や何か母狐の心情を思わせる一文があってほしかったな～と思います（上と重複しますが）

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

”「母ちゃん、眼に何か刺さった、ぬいて頂戴早く早く」”

子供らしい表現だなと思いました。こういう、子供のまっさらな感性を表現できる作者の感性は素晴らしいなと思います。

よくなかった、批判点などを教えてください。

人間がトラウマになって足がすくむ母が、子供だけで人間の店へ手袋を買いに行かせるのは、そこが物語のミソであっても、少し違和感を感じます。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>								

児童向けだけど、易しだけの表現や内容でなくて、大人になっても読み返せる深さがこの作品にはあると思います。

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>								

“暗い暗い夜が風呂敷のような影をひろげて野原や森を包みにやって来ましたが、雪はあまり白いので、包んでも包んでも白く浮びあがっていました。”

比喩の情景描写ですが、子供が読んでも面白く楽しく感じる表現だと思います。

全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>								

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素としては少なめに感じますが、物語に深さがあることを考えるとちょうどよくなると思います。それが、大人が読んでも面白いと感じる部分であると思います。

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>							

最後の一文

「ほんとうに人間はいいものかしら。ほんとうに人間はいいものかしら」とつぶやきました。
について

児童向け文学だと思いますが、子供はこの最後の一文を重視すると思いますか？

読み飛ばすというか、小狐が間違えて狐の手を出すあたりのドキドキハラハラが読了後強く感じるものじゃないかなと思います。

この一文について思うことがあったら書いてください

”「あれはお星さまじゃないのよ」と言って、その時母さん狐の足はすくんでしまいました。”

”その町の灯を見た時、母さん狐は、ある時町へお友達と出かけて行って、とんだめにあったことを思出しました。およしなさいっていうのもきかないで、お友達の狐が、或る家の家鴨を盗もうとしたので、お百姓に見つかって、さんざ追いまくられて、命からがら逃げたことでした。”

最後の一文だけかと思っていたのですが、前に伏線（というほどのものでもないかもしれませんが）ありましたね。それでも、この最後の一文はあるのとないのとは全然違うと感じます。

子供にとっては、アヒルを盗もうとした友達狐は酷い目にあって、間違えて狐の手を出してしまったけれど、ちゃんとお金を持ってきた小狐は手袋を変えたという教訓になるのかなと思います。大人にとっては最後の”「ほんとうに人間はいいものかしら。ほんとうに人間はいいものかしら」”は誠実にしても悪い人間がいるという暗喩のように思えました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム